

交 流 通 信

企画課 ☎ 23局3507

今回は、田原市の友好都市・長野県宮田村から届いた『りんごの木オーナー契約会』についてのメッセージをご紹介します。

ご来村ありがとうございました

7月31日(日)、今年も多くの田原市の皆さんにご契約いただき、りんごの木オーナー契約会を行うことができました。

昨年^{とうそうがい}は、春先の凍霜害や夏以降の度重なる台風被害で、りんごの収穫は残念な結果になってしまいましたが、今年は順調に生育しており、平年並みの収穫が期待できそうです。この先も、台風の被害がないことを祈っています。

さて、開催時期を夏休み期間に移して2回目の契約会は、好天に恵まれました。田原市の皆さんには、契約したりんごの木に手書きの名札を付けていただいたほか、前夜からの宮田高原でのキャンプ、野菜の収穫体験やバーベキューなども楽しんでいただくことができました。

参加された皆さんから「りんごの味がよい」「行

楽を兼ねた小旅行が楽しめる」「もぎたてのりんごが食べられる」との声をいただき、大変光栄です。



自分の名札、かわいく書けたかな？

秋の収穫祭に向けて、生産者も愛情を込めて育てていきますので、また多くの皆さんのお越しをお待ちしています。(宮田村民より)

田原市と宮田村の交流

田原市と宮田村は平成11年11月9日に友好都市提携を結びました。毎年、りんごオーナー制度や、相互の物産展の開催などを通じて交流を深めています。

ここにあげた 〃 の項目は、他の男女で多少の違いはありますが、

- 〃 男性50・8% 女性64・9%
- 〃 男性65・0% 女性60・1%
- 〃 男性66・7% 女性62・0%
- 〃 異性を思いやる気持ちの大切さを教える心の教育を充実させる。
- 〃 男女共に、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける。
- 〃 生活指導や生徒指導において、男女の別なく能力を活かせるように配慮する。

今回は、男女平等の意識を育てるために学校教育に必要なことを、平成15年度実施の市民アンケートの結果から見ていきましょう。



企画課 ☎ 23局3507



項目に比べて皆さんが重要と考えているものです。それでは、1項目ごとに内容を考えてみましょう。

義務教育は、男女同一の内容で教育が行われています。これからは周囲の大人(教育関係者、親等)の、一人ひとりの個性を活かす配慮が必要です。

人権尊重の精神を養う人権教育は、とても大切です。小・中・高の連携を取りながら、人権についての学習を重ねていけば、子どもたちに人権を尊重する意識が育まれていくでしょう。

「家事・育児は女性」というような性による役割分担ではなく、個性による役割分担となるために、男女ともに家事や育児・介護の知識、経験を持つことが大切です。